

製品名: DCAMKL2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09829**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量 | 83kDa |

抗原情報

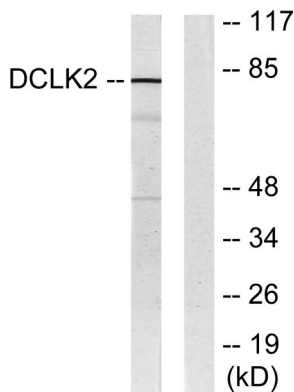
| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | DCLK2 DCLK2; DCAMKL2; DCDC3B; DCK2; Serine/threonine-protein kinase DCLK2; CaMK-like CREB |
| 別名 | regulatory kinase 2; CL2; CLICK-II; CLICK2; Doublecortin domain-containing protein 3B; Doublecortin-like and CAM kinase-like 2; Doublecortin-like kinase 2 |
| 遺伝子 ID | 166614.0 |
| SwissProt ID | Q8N568 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト DCLK2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50 |

背景

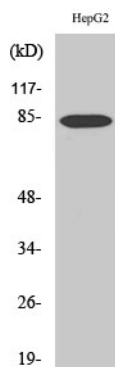
この遺伝子は、タンパク質キナーゼスーパーファミリーおよびダブルコルチンファミリーのメンバーをコードします。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、微小管に結合して微小管の重合を制御する 2つの N 末端ダブルコルチンドメイン、Ca²⁺/カルモジュリン依存性タンパク質キナーゼと高い相同性を示す C 末端セリン/スレオニンタンパク質キナーゼドメイン、およびダブルコルチンドメインとタンパク質キナーゼドメインの間にあり、複数のタンパク質間相互作用を媒介するセリン/プロリンリッチドメインを含みます。コードされるタンパク質の微小管重合活性は、そのタンパク質キナーゼ活性とは独立しています。マウスを用いた研究では、この遺伝子とファミリーの別のメンバーである DCX 遺伝子が海馬組織の確立において機能を共有しており、これらの遺伝子の欠損は、滑脳症のヒト患者で報告されているように、重度のてんかん表現型および致死性をもたらすことが示されています。多重交互触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。CAMK Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。CaMK サブファミリー。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。類似性: 2つのダブルコルチンドメインを含みます。、

研究分野

画像データ



DCLK2 抗体を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



DCAMKL2 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析